

第一番 左澤学校

共生 One for all, All for one

自分コントロール

立派になったものである。国道287号のことだ。ヤマザワから寒河江の工業団地の間、国道を利用する。特に制限はないことから、概ね60数kmの速度で流れている。時々、40kmくらいで走る車と出会う。中には40km以下の時も。しばらくは、お付き合い。

その時、気づくことがある。

遅い車に出会った時

- ①いらいらして怒る
- ②いらいらするがしかたがないと思う
- ③遅いなと思うがそれ以上何も思わない
- ④何も思わない

自動車は自分だけの空間。なおさら、自分の状態が映し出される。

私にとって危険なのは④。ぼうっとして心が乾いているとき。次に危ないのは①。何かに囚われて、焦りがあるとき。一番良い状態は、③だ。心に余裕があり、多少のことで乱れないことを示している。これが平常心。このことが意識できるようになってから、②と③が増えてきた。

「自分コントロール」心したい。

真夜中のチャイム

ほんとうにあった話。10数年前のこと。その年、統合により、複数の小学校が閉校した。子ども達は町の中心校に通学することに。地区の方は、「子どもの声が聞こえなくなる」と残念がった。閉校の準備を進める中で、こんな話が出た。「学校の建物を活かさないか。」「お昼にチャイムが聞こえるようにできないか。」

閉校するのはしかたがない。でも百年以上続いた学校の存在を感じ続けたい。うなづける話だ。

閉校寸前の3月末のこと、そのチャイムはなった。

しかも真夜中の0時に。

翌朝、PTA 役員から電話があった。「学校が泣いていた。」「学校も悲しいんだよね。」「地域みんなの気持ちが伝わったのかな。」地域で話題になっている。



教頭先生から電話があった。「真夜中のチャイム・・・」どきっ、とした。犯人は私だ。教務主任の私が設定ミスをしたのだ。チャイムの時刻は円型の設置板を使う。チャイムを流したい時刻にピンをさす仕組みだ。なんと午前と午後をまちがってしまったのだ。すぐ再設定したのはもちろんである。

今だから言えることもある。恥ずかしいやら、情けないやら、申しわけないやら。

しっかりと「わき芽かき」

2年生のミニトマト。まだ青いがトマトの実がたくさんっている。世話も一生懸命。この調子。